

後期高齢者 医療特別会計

予算規模は昨年度とほぼ同等の2億6624万円としました。歳入の大部分は高齢者が収める保険料。歳出の大部分は医療広域連合への納付金です。

反対

門原武志 議員

高齢者を差別する医療制度は廃止すべきだ。滞納者からの保険証取り上げは命に関わる問題だ。

介護保険特別会計

予算規模は昨年度より11.2%増の15億2644万円としました。

歳入では、介護給付準備基金を取り崩したこと、介護保険料を改定して保険料が安くなったことにより、保険料収入が2.6%下がりました。

歳出では、介護従事者処遇改善のための介護給付増に対して、昨年度末に国から補助された介護従事者処遇改善臨時特例基金を充てます。また県の財政安定化

基金への借金返済が終了したため、2700万円以上の支出がなくなりました。

反対

門原武志 議員

介護保険料は引き下げられたが、東郷町には保険料・利用料の減免制度がなく、低所得者への配慮がないのは相変わらずだ。

下水道特別会計

予算規模は84%減の10億4754万円としました。減額は公共下水道建設事業費の削減によるものです。

反対

門原武志 議員

都市計画税が徴収されている上に、下水道受益者負担金を徴収するのは、税金の2重取りである。



平成20年度 補正予算

定額給付に 関する補正

国の第2次補正予算が国会を通過したので、定額給付金と子育て応援手当に充てる費用が、交付されました。町はこの財源によって、それぞれの給付事業を始めます。

平成20年度最後の補正予算は、これらの給付事業に必要な費用を予算化したものです。

賛成

箕浦克巳 議員

定額給付金など6億円余の早期支給が提案された。景気向上に資することを期待する。

人事

固定資産評価審査委員会委員の山内君子氏が平成21年3月31日に任期満了となるため、引き続き同氏を審査委員に選任しました。任期は平成24年3月31日まで。

平成21年度予算一覧表

(千円以下は四捨五入)

会計区分	今年度予算額	前年度予算額	比較	
一般会計	97億2851万円	102億3352万円	△5億0501万円	
特別会計	国民健康保険	29億4196万円	33億4763万円	△4億0567万円
	東郷診療所	1億6984万円	1億7076万円	△92万円
	老人保健	1201万円	2億0200万円	△1億8999万円
	後期高齢者医療	2億6624万円	2億6328万円	296万円
	介護保険	15億2644万円	13億6792万円	1億5852万円
	下水道事業	10億4754万円	11億4421万円	△9667万円
	旭ヶ丘団地汚水処理事業	483万円	1057万円	△574万円